

令和3年度日本小児外科学会
第2回定例理事会議事録

日 時：令和3年5月31日（月） 11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス+Web

出席者（大阪大学東京オフィス）：

奥山宏臣（理事長・次期会長）、小野 滋（副理事長）、越永従道（理事・会長）、
大植孝治、田中 潔、淵本康史、米田光宏（以上理事）、黒田達夫、
山高篤行（以上監事）、照井慶太（庶務委員長）、藤野明浩（庶務副委員長）、
仁田尾慶太（事務局）

出席者（Web）：

浮山越史、石橋広樹、内田広夫（以上理事）、田尻達郎（前理事長）、
上原秀一郎（財務会計委員長）、浦尾正彦（財務会計副委員長）、金森 豊（第
37回秋季シンポジウム会長）、野田卓男（第38回秋季シンポジウム会長）、
臼井規朗（第39回秋季シンポジウム会長）、家入里志（施設認定委員会委員
長）、菱木知郎（専門医認定委員会委員長）、古村 眞（専門制度庶務委員会委
員長）

欠席者：増本幸二（理事）

議事案件：

議 事：

1. 奥山理事長より、理事長就任にあたっての挨拶があった。
2. 第2回定例理事会の議事録署名人は、浮山越史理事、淵本康史理事とした。
3. 令和2年度第7回および令和3年度第1回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
4. 審議事項
 - 1) 第58回学術集会について（黒田前会長）

黒田前会長より、収支決算報告については現在取りまとめているところであるが、学術集会参加者数が報告され、了承された。
 - 2) 第59回学術集会について（越永会長）

越永会長より、資料に基づき準備状況が報告提案され、以下のように承認された。

 - (1) 学術集会における名誉・特別会員、役員への接遇（宿泊費）のあり方について、学術集会1回につき宿泊施設は問わず、領収書を提出するのと引き換えとして宿泊費は上限2万円の支給とすることが提案され、承認された。
 - (2) 学術集会1日目と2日目を対面集合式開催、3日目を完全ウェブ開催として準備を進めており、内視鏡手術セミナーおよび卒後教育セミナーは例年通りの日程で、3日目のプログラム終了後から完全ウェブ開催で準備を進めることが承認され

た。

- 3) 第 60 回学術集会について（奥山次期会長）
奥山次期会長より、準備状況が報告され、了承された。
日程：2023年6月1日（木）～3日（土）
会場：大阪国際会議場
- 4) 第 37 回秋季シンポジウムについて（金森第 37 回秋季シンポジウム会長）
金森第37回秋季シンポジウム会長より、資料に基づき準備状況が報告され、了承された。
なお、補助金については、昨年度の理事会で決定した通り、120万円+200万円の合計320万円の補助金を支給することが改めて確認された。
日程：2021年10月30日（土）
会場：ベルサール神田
テーマ：再生医療と小児外科
- 5) 第 38 回秋季シンポジウムについて（野田第 38 回秋季シンポジウム会長）
野田第38回秋季シンポジウム会長より、準備状況が報告され、了承された。
日程：2022年10月29日（土）
会場：岡山コンベンションセンター
テーマ：小児外科治療後のサルベージ
- 6) 第 39 回秋季シンポジウムについて（臼井第 39 回秋季シンポジウム会長）
臼井第39回秋季シンポジウム会長より、資料に基づき準備状況が報告され、了承された。
日程候補：2023年10月28日（土）または11月4日（土）または11月11日（土）で検討中
会場：福岡市を中心に検討中
テーマ：小児外科領域における感染症対策
- 7) 令和 3 年度総合調整委員会日程について（小野副理事長）
小野副理事長より総合調整委員会の開催日程について提案があり、以下の通りとなった。
会場は設けず完全ウェブにて開催予定とした。
総合調整委員会
第1回 令和3年8月23日（月）14：00～17：00
第2回 令和3年10月4日（月）14：00～17：00
第3回 令和3年12月6日（月）14：00～17：00
第4回 令和4年2月7日（月）14：00～17：00
- 8) 各種委員会担当理事および委員長について（奥山理事長）
奥山理事長より各種委員会担当理事および委員長について提案があり、以下の通り承認

された。委員のノミネートについては6月15日までに奥山理事長と事務局宛に連絡することとした。

庶務委員会：小野担当理事、照井委員長

財務会計委員会：小野担当理事、上原委員長

機関誌委員会：大植担当理事、田中秀明委員長

Pediatric Surgery International Publication Committee：大植担当理事、北川博昭委員長、島秀樹補佐

国際・広報委員会：瀧本担当理事、新開統子委員長

保険診療委員会：浮山担当理事、尾花和子委員長

教育委員会：内田担当理事、井上幹大委員長

悪性腫瘍委員会：大植担当理事、高間勇一委員長

学術・先進医療検討委員会：米田担当理事、深堀優委員長

倫理・医療安全管理委員会：石橋担当理事、木下義晶委員長

データベース委員会：田中担当理事、藤代準委員長

小児救急検討委員会：田中担当理事、宮城久之委員長

ワークライフバランス検討委員会：浮山担当理事、東間未来委員長

トランジション検討委員会：田中担当理事、田附裕子委員長

規約委員会：石橋担当理事、内田恵一委員長

研究倫理委員会：石橋担当理事、尾山貴徳委員長

NCD連絡委員会：瀧本担当理事、伊勢一哉委員長、佐々木隆士顧問、寺脇幹顧問

ガイドライン委員会：米田担当理事、文野誠久委員長、伊勢一哉顧問

利益相反委員会：増本担当理事、家入里志委員長

医薬品・医療機器検討委員会：内田担当理事、和田基委員長

9) 新庶務委員（会長付）について（奥山理事長）

奥山理事長より会長付庶務委員として日本大学の上原秀一郎評議員と提案があり、承認された。

10) 対外委員のメンバーについて（奥山理事長）

奥山理事長より、対外委員メンバーの提案がされ、承認された。なお、日本小児期外科系関連学会協議会への対外委員については、先方から委員任期満了の際に連絡があるので、その時に再度検討することとした。

日本医学会 評議員 奥山宏臣

連絡委員 小野 滋

用語委員 内田広夫

日本小児医療政策研究会 奥山宏臣

小児救急連絡協議会 奥山宏臣

田中 潔

外科関連専門医制度委員会	奥山宏臣 小野 滋 家入里志 菱木知郎
世界小児外科学会連合代表 外科系学会社会保険委員会連合（外保連）	淵本康史 浮山越史 尾花和子
外科関連学会協議会	奥山宏臣 小野 滋
小児専門管理栄養士制度合同協議会	増本幸二
日本外科学会保険診療委員会	浮山越史 尾花和子
臓器移植関連学会協議会	星野 健
National Clinical Database	奥山宏臣 田中 潔 淵本康史 菱木知郎

11) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（照井委員長）

照井委員長より、資料に基づき報告がなされた。2021年4月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,709名（うち海外1名）、準会員19名、評議員310名、名誉会員59名（うち海外8名）、特別会員68名（うち海外1名）、賛助会員1団体（2口）の合計2,165名+1団体である。

Web会議システムの契約更新の確認があり、何かと利便性が高いので、WebexとZoomのそれぞれのアカウントを継続利用することが提案され、承認された。

名誉会員の津川力先生、真家雅彦先生、特別会員の本名敏郎先生の追悼文の依頼候補について確認された。

(2) 財務会計委員会（上原委員長）

上原委員長より、資料に基づき評議員会資料が毎年ページ数のオーバーが目立ち、印刷会社への支払いが増加しているため、削減に協力の依頼がなされた。

学会と提携している医療賠償保険の減免率について、契約者数が200名を切っているため、15%から10%に減少すると報告があり、各理事の施設で加入していない会員に呼びかけよう協力が求められた。

学術集会の抄録アプリについて、以前利用していた日本コンベンションサービスの抄

録アプリから、抄録アプリを開発した方が独立した会社で再度契約し直すことが提案され、承認された。また別の会社となっても困るので、最低5年は利用できるような契約書を作って契約締結を進めることとした。

(3) 専門制度委員会（家入施設認定委員長、菱木専門医認定委員長、古村専門医制度庶務委員長）

家入施設認定委員長、菱木専門医認定委員長、古村専門医制度庶務委員長より、資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

- ・新専門医制度に対応した規約作りを開始する。
- ・専門医制度のデータを利用した研究について、個人が特定できない学術利用については認める方向で、申請があった都度、専門医制度委員会および理事会において内容の確認をして判断していくこととした。

(4) 機関誌委員会（大植担当理事）

大植担当理事より、資料に基づき、学術集会記録は刷り上がり 30 ページと規定しているが、超過ページの請求がなされていなかったと報告があり、今後は 30 ページ以内に収めていただくよう委員会でチェックしていくこととした。また、PSI 論文が 50 論文ほどであること、今後の査読スケジュールが報告された。

(5) 国際・広報委員会（淵本担当理事）

淵本担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(6) 保険診療委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より、資料に基づき外保連に提出した資料が報告された。

(7) 教育委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、資料に基づき学術集会時に行われた卒後教育セミナーについての報告があり、出欠ログやアンケート、キーワード提出等のデータを確認して、一部の受講者にはレポート提出を求めるなどして、修了証書の発行を進めると報告された。

(8) 悪性腫瘍委員会（大植担当理事）

大植担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(9) 学術・先進医療検討委員会（米田担当理事）

米田担当理事より、科研費のアンケートを前期の委員会から引き継いで集計作業を行うと報告された。

(10) 倫理・医療安全管理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(11) データベース委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、NCD データを利用した研究申請について、現在決選投票を実施しており、次回理事会で答申ができる予定であると報告された。

(12) 小児救急検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、COVID-19 に関するアンケートを認定施設・教育関連施設宛に実施することを計画していると報告された。

(13) トランジション検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、前期の委員会において実施したアンケート結果について、日本小児外科学会雑誌に掲載予定であると報告された。

(14) ワークライフバランス検討委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より、資料に基づき第 58 回学術集會会期中に行われた第 9 回ワークライフバランス講演会についての報告がなされた。

(15) 規約委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、理事会内規集の精査作業を引き継いでいると報告された。

(16) 研究倫理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、来年から施行される倫理審査について、前小野委員長を顧問に据えて、相談しながら進めていくと報告された。

(17) NCD 連絡委員会（渚本担当理事）

渚本担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(18) ガイドライン委員会（米田担当理事）

米田担当理事より、「腸回転異常症診療ガイドライン」は完成に近づいており、どこに配布するかを検討中であると報告された。また、次期ガイドラインについても今期から作成を開始する予定であると報告された。

(19) 利益相反委員会（増本担当理事欠席のため奥山理事長）

増本担当理事欠席のため奥山理事長より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(21) 日本外科学会理事会（田尻前理事長）

田尻前理事長より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(22) 四者協（田尻前理事長）

田尻前理事長より、資料に基づき3月17日と5月19日に開催された四者協の議事録が報告された。

12) 総合調整委員会諮問事項について（奥山理事長）

奥山理事長より、資料に基づき以下の点について総合調整委員会に諮問された。

- ・ 学術集会のあり方について
- ・ 理事会、評議員会のあり方について
- ・ 学会としての小児外科専門医の地域ごとの適正数の検討
- ・ 小児外科関連研究会の今後のあり方についての提言
- ・ 学生、若手医師のリクルート・育成するための具体的方策
- ・ 女性医師がストレスなくキャリア継続できるための環境整備についての提言
- ・ 海外での研修システム、海外からの研修受け入れについて

13) 日本医学会分科会活動報告について（奥山理事長）

奥山理事長より、資料に基づき日本医学会から各加盟分科会に報告を求められていると報告があり、報告書案を作成したため、意見がある場合は数日中に奥山理事長または事務局まで伝えることとし、承認された。

14) 各種委員会の常設委員会化について（奥山理事長）

奥山理事長より、資料に基づきNCD連絡委員会、ガイドライン委員会、医薬品・医療機器検討委員会を特設委員会から常設委員会にしてはと提案があり、承認され、定款施行細則の第24条を改定することとした。

15) 新型コロナウイルス感染症による他疾患等への影響調査研究について（奥山理事長）

奥山理事長より、資料に基づき厚労科研「新型コロナウイルス感染症に対応した新しい生活様式による生活習慣の変化およびその健康影響解明に向けた研究—生活習慣病の発症および重症化予防の観点から—」門田分担班臨床外科グループにおいて、小児外科領域で200万円ほど今年度事業として扱えるということ、成果物は報告書または論文であること、本科研費の利用に関してはNCDの解析費用に充てることとし、NCD連絡委員会において検討することとした。また、コロナ感染症に診療への影響へのアンケート調査は小児救急検討委員会では実施予定である。今年度中の成果が求められる。

5. 報告事項

1) 理事長報告（奥山理事長）

- (1) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「NEWS LETTER 2021年5月号」を受領した。
- (2) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY vol.51-4」を受領した。
- (3) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.382」を受領した。
- (4) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！ Vol.186」を受領した。
- (5) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY vol.51-5」を受領した。
- (6) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレター No.203」を受領した。
- (7) 日本救急医学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (8) 国立循環器病研究センターからの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (9) 日本医学会からの通信文「ガルカネズマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（片頭痛発作の発症抑制）について」を受領した。
- (10) 日本医学会からの通信文「アキシカブタゲン シロルユーセルの最適使用推進ガイドラインについて」を受領した。
- (11) 日本医学会からの通信文「日本医学会 e-News No.3」の発行について」を受領した。
- (12) 日本医学会からの通信文「独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページにおける「添付文書一括ダウンロード機能」の追加について」を受領した。
- (13) 日本医学会からの通信文「医薬品等の容器等に記載された符号を読み取ることで注意事項等情報が掲載されている機構のホームページを閲覧するスマートフォン等のアプリケーションについて」を受領した。
- (14) 内田恵一先生からの通信文「非特異性多発性小腸潰瘍症の遺伝学的検査について」を受領した。かずさ DNA 研究所にて遺伝子検査ができるようになったと報告された。
- (15) 日本医学会からの通信文「新型コロナウイルスワクチン接種医師確保事業」に係るお願い」を受領した。
- (16) 日本外科学会からの通信文「学会誌に関する情報提供のお願い」を受領した。
- (17) 日本外科学会からの通信文「第 122 回日本外科学会定期学術集会プログラム」を受領した。

2) 秋季シンポジウム小委員会報告（田尻前理事長）

田尻前理事長より、資料に基づき4月28日に委員会を開催したと報告があり、令和6年（2024年）の秋季シンポジウムのテーマとして、1位：少子化時代における小児外科医育成、2位：出生前診断の功罪、3位：新生児外科疾患の長期フォローにおける問題点がテーマ候補として上がったと報告された。

3) 次回定例理事会日程の確認（奥山理事長）

次回理事会は令和3年6月28日（月）11：00～16：00 大阪大学東京オフィスにて開催す

ることが確認された。

理事長 _____

理事 _____

理事 _____